

地震あんしんカルテ

我が家に設置した地震計からデータを収集・解析し、地震が発生した後の建物の健全性を評価します。

【地震発生時刻】 2018年1月6日 0時54分頃 【震源地】東京湾 【マグニチュード】 4.7 (深さ71km)

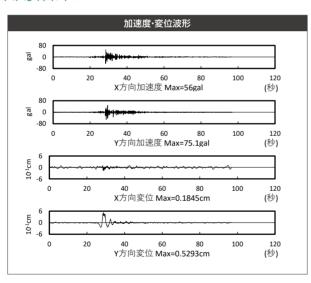
観測地点 東京都江戸川区 設置建物 木造 2階 / 3階建

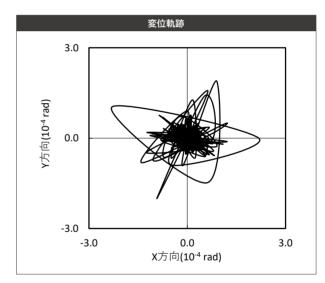
建物健全性評価: 健全 震度: 4 計測震度: 3.7

観測値から推定される固有周期はX方向0.3秒、Y方向0.2秒です。同規模の建物相当値で、層間変形角も小さいことから健全と判定されます。

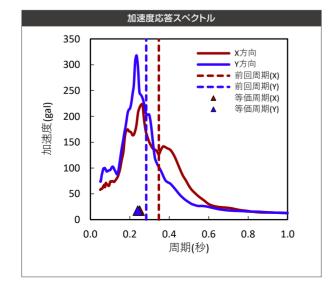
※建物健全性評価は、計測したデータを基に独自で算出したものであり、建物の健全性の目安を示すものです。当カルテをご利用になったことにより生じるいかなる損害についても、 一切責任を負いません。

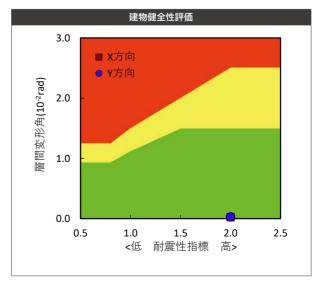
1 計測結果 計測したデータから建物の揺れの大きさや軌跡がわかります。





2解析結果 解析結果から建物の健全性がわかります。





30年地震ハザード

今後30年間に震度6弱の揺れに見舞われる確率 **75.1%**【ランク:E 高め】

表層地盤増幅率

地表面近くに堆積した地層の地震時の揺れやすさ

2.05 【ランク:E 高め】

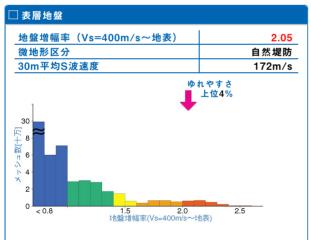


地震ハザードカルテ 2017年版





□ 30年、50年地震ハザード			
超過確率の値[%]		震度5弱	100.0
△※00左眼にまて雨座以上の	30年	震度5強	99.0
今後30年間にある震度以上の 揺れに見舞われる確率の値	30#	震度6弱	75.1
です。		震度6強	22.2
	30年	3%	6強
震度の値	304	6%	6強
今然20年または50年間にまずは	50年	2%	7
今後30年または50年間にある値 以上の確率で見舞われる震度の		5%	6強
値です。		10%	6強
		39%	6弱
	30年	3%	150.3
地表の最大速度の値[cm/s]	304	6%	127.0
今後30年または50年間にある値		2%	182.9
リ上の確率で見舞われる地表の	50年	5%	150.6
最大速度の値です。		10%	126.7
		39%	80.1



□ ハザードカーブと影響地震カテゴリー					
10	0.1		海海	ての地震 構型巨大地 構型震源不 或浅発地震	特定地震
30年超過確率	0-2		30年	3%	
9		1, 1,1	[cm/s]	6%	
103	50年 [cm/s]	2%	89.3		
		5%	73.5		
		10%	61.9		
10	0-4	, ,		39%	39.1
	0	50 100 150 基盤上の最大速度[cm/s]			
No.	地震名				震度6弱以上 の影響度[%]
1		太平洋プレートのプレ の震源を予め特定し	こくい地震		43.1
2		フィリピン海プレー ート内の震源を予め ¹			37.2
3		南海トラフの地震			16.4

s=1,100m/s s=2,700m/s							1,570r 2,738r
400 800	500	1000	S波速) 1500	度[m/s] 2000	2500	3000	3500
1200 - E1600 - tu2000 -		L	1				
8€2400 - 2800 - 3200 -							
3600 4000							

□ 長期間平均ハザード						
	500年相当	6強				
震度の値	1000年相当	7				
及及♥ク値	5000年相当	7				
長期間の再現期間に対応する	1万年相当	7				
震度の値です。	5万年相当	7				
	10万年相当	7				

Copyright© 2012-2017 国立研究開発法人 防災科学技術研究所

http://www.j-shis.bosai.go.jp/labs/karte